

2019年度



学校教育目標・経営方針

重点テーマ 夢の実現 「15の春！」



はじめに

学校は、かけがえのない存在としての子どもたちのために、教育を行う場です。

そして、学校は、保護者・地域社会の願いを受けてその教育を行っています。私たちは、常にそのことを忘れず、子どもたちへの深い愛情と信頼関係を基盤に、生涯にわたって「幸せな生活」を営んでいけるような「生きる力」の基礎を身に付けさせなければなりません。

黒島小中学校は、26年度より小中併設校となり、昨年度から新校舎のもと、県内初の義務教育学校としてスタートしました。連続した9か年を見通した教育をできる学校となり、その責任を果たすことを求められる学校となりました。

また、黒島には高校がなく、中学校卒業と同時に、「夢の実現」のため、ほとんどの生徒が親元を離れます。全ての子どもたちが、「15の春」を迎えることができるよう、それぞれが与えられた職責を果たし、全職員が一丸となって児童生徒の教育に邁進していきます。

1 校訓・学校教育目標

○校訓 「島魂（誇りと自信）」 ～Kuroshima's Pride～

○学校教育目標

「9年間を通して育てる ふるさとを愛し、未来を切り開く黒島っ子の育成」

2 めざす子ども像・学校像・教職員像

(1) めざす子ども像

○優しく、感性豊かな子ども（徳）

豊かな環境や体験活動の中で、感性を磨き、自分を大切にし、相手を思いやることのできる子どもの育成。

○進んで意欲的に学ぶ子ども（知）

学ぶことに喜びを感じ、意欲的に学習に取り組む子どもの育成。

※新教科「ふるさと黒島学」においては、「探究的な学び」を目指します。

「自分（たち）なりの問いを立て、自分（たち）なりの仕方で、自分（たち）なりの答えにたどり着く」学びを通してふるさと黒島を愛する児童生徒を育てます。

○最後までやり抜く子ども（体）

身体を鍛え、粘り強くやり抜く気持ちをもったタフな子どもの育成。

(2) めざす学校像

○子どもの夢を育み、夢を叶える学校

義務教育学校及び小規模校の良さを生かし、子ども一人一人を大切にする学校。地理的なへき地はあっても、教育にへき地があってはならない。

○明るく、創造性にあふれる学校

新校舎・体育館の元で、学びの環境が充実した学校。

秩序・規律・環境美化を重視する。

○地域とともにある学校

島に一つしかない学校として、地域に根ざし信頼に応える学校。

地域の一員として地域・保護者と同じ立場で連携を深める。

(3) めざす教職員像

○子供とともにある教職員

常に児童生徒に寄り添い、彼らが大人になった姿を思い描きながら、今を生きる子どもを大切にする教職員。

○チームとして高め合う教職員

小学校文化、中学校文化の良さを認め合いながらも、同じ義務教育学校の教職員という自覚をもち、チームとして子ども達の成長を願う教職員

○地域を愛する教職員

地域に住み、地域の一員として、黒島の良さを知り、地域に貢献できる教職員。

3 本年度の学校経営の基本的な考え

2019年度重点テーマ 「夢の実現 15の春！」

～出口を意識した、9年間の学びの構築～

〈義務教育学校の可能性（良さ）の探究〉

そのために

- (1) 義務教育学校の良さを最大限に生かす。
 - ① 前期課程・後期課程の積極的な乗り入れ授業の実施
複式解消と6～9年生の4年間を見通した学力の向上
 - ② 多様な異学年交流による自己肯定感を高める。
 - ③ 地域の実情を踏まえた9年をひとまとまりにした取組の充実 ～検証と見直し～
新教科「ふるさと黒島学」の実践
小学校高学年からのキャリア教育・進路指導の充実
学習規律や家庭学習に系統性をもたせる。
生活指導及び生徒指導の共通理解と充実
 - ④ 「中1ギャップ」の緩和（解消）
- (2) 全職員で全児童生徒を育成する。
常に児童生徒に寄り添い、彼らが大人になった姿を思い描きながら「今を生きる」子供たちを大切にする（15で島を離れることを意識しながら）。
- (3) 保護者や地域の方々との信頼関係をつくる。
島に一つしかない学校だからこそ、「地域とともにある学校」を目指す。
- (4) 教職員の信頼関係をつくる。
小学校文化と中学校文化の良さを認め合いながら、同じ義務教育学校の職員として、チームで子供たちに対応する。
- (5) 義務教育学校の良さの可能性を積極的に情報発信する。
「県内初」の注目度を子供たちの自信と誇りの育成に生かす。
- (6) 「黒島だからできる」「黒島しかできない」感動体験で豊かな感性を育てる。
- (7) 「極小規模」「黒島だからできない」ことを自覚し、補うための、他校との交流、魅力的な大人と出会い、芸術や文化との出会いを設定する。
- (8) 礼儀正しい児童生徒を育成する。「時を守り、場を清め、礼を尽くす」
 - ・ 5分前行動
 - ・ 決して清掃活動に手を抜かない。
 - ・ 靴やスリッパをきちんとそろえる。
 - ・ 心のこもった元気なあいさつ・返事・言葉遣いができる。
- (9) 整理整頓の行き届いた「きれいな学校」にする。
新校舎・体育館・運動場に愛着を持ち、大切に利用する心情を育てる。
- (10) 教職員としての立場を自覚し、行動する。
地域に住み、地域の一員として、子供・保護者・地域の信頼に応える。